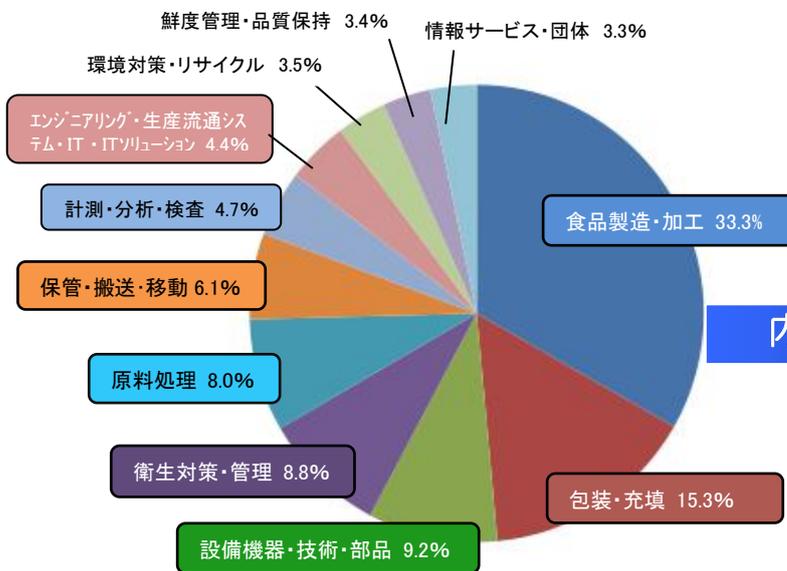


今回のポイント

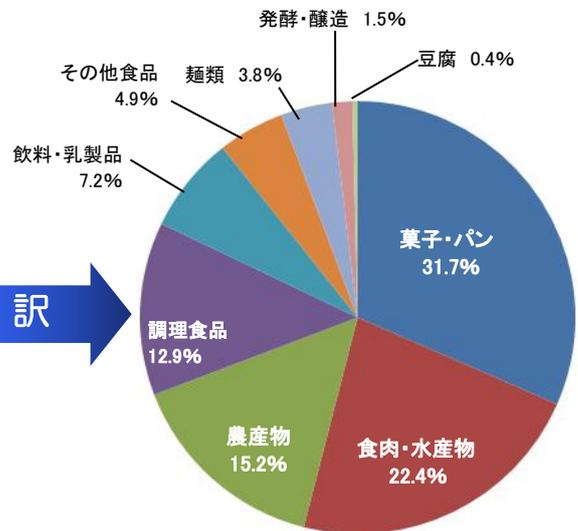
①史上最多の出展社（791社）が集結。

今回の総出展社数は791社で、このうち新規出展は48社。総出展面積は34,590㎡となりました。出展社数を分野別にみると、一番多いのは「食品製造・加工」分野（263社/33.3%）で、次いで「包装・充填」分野（121社/15.3%）、3番目は「設備機器・技術・部品」分野（73社/9.2%）です。最多の「食品製造・加工」分野の細目別割合の上位は、「菓子・パン」（31.7%）、「食肉・水産物」（22.4%）、「農産物」（15.2%）、「調理食品」（12.9%）などでした。

<分野別出展社数割合>



<食品製造・加工分野の細目別割合>



内訳

☆今回も現場の課題を解決する新製品や、FOOMA JAPAN 初披露製品などが多数登場！

今回のFOOMA JAPANの会場内では、出展各社の新製品（70社超90製品以上）やFOOMA JAPAN初披露製品（80社超100製品以上）が登場します。

スピードアップや効率化による生産性向上などは言うまでも無く、年々深刻化する人手不足や人材不足への対応、またこれまでになく注目されている衛生対策など、生産現場における課題はますます多様化し、山積しています。このような課題を解決をすべく、メーカー各社は様々なソリューションの開発・研究に取り組み、新製品・新技術・新サービスという形で提案し続けています。

省スペースと自動化を実現した協働ロボット（ストーブリ）、新鮮食材を美しくスピーディにカットする小型マシン（七島屋エンジニアリング）、ドーナツ生地を連続でリング状に成型する機械（ヨシダキカイ）、0.2秒の瞬間水蒸気加熱と急速減圧を組み合わせた殺菌装置（フジワラテクノアート）、ガス式オーブンと過熱蒸気を併用して菓子を焼き上げる焼成装置（マスダック）などが展示・実演される予定です。

※別添資料（見得情報）参照

☆分野別出展社数（共同出展社含む）と展示物

- ★原料処理 63社 2,430㎡
 混合・攪拌・混練機、粉碎・分級・造粒機、ふるい機・網、乾燥機、殺菌装置、熱交換機、脱水機、ニーダー、ホモジナイザー、開袋機など
- ★食品製造・加工 263社 14,895㎡
 - ・「菓子・パン」 83社 5,490㎡
 オープン、ミキサー、焼成機、成形機、デポジッター、ドゥコンディショナー、蒸し器、包・製あん機、コーティング機、テンパリング機、スライサー、製パンラインなど
 - ・「食肉・水産物」 59社 3,442.5㎡
 スライサー、カッター、チョッパー、ダイサー、テンドーライザー、ミキサー、成形機、ソーセージ・ハム充填機、ハンバーグ成形機、インジェクター、スタッパー、タンブラー、魚体処理機など
 - ・「麺類」 10社 382.5㎡
 製麺機、即席麺製造プラント、パスタ製造機、餃子・ワンタン・焼売・包子製造装置、茹上機など
 - ・「調理食品」 34社 2,760㎡
 オープン、フライヤー、炒め機、蒸し機、焼成機、加熱攪拌機、炊飯機、寿司ロボット、寿司・おにぎり製造・包装機器など
 - ・「飲料・乳製品」 19社 757.5㎡
 飲料プラント、濾過装置、果汁飲料製造装置、搾汁機、飲料充填機、飲料滅菌装置、濃縮装置・乳化装置など
 - ・「農産物」 40社 1,425㎡
 野菜・果物洗浄機、精米機器、洗米機、カッター、スライサー、千切り機、皮むき・芯取り機、選別機、異物除去装置、割卵機など
 - ・「豆腐」 1社 15㎡
 豆腐プラント、豆乳プラント、脱臭機、フライヤーなど、油揚製造機、湯葉製造機、焼豆腐製造機、豆腐用型箱
 - ・「発酵・醸造」 4社 150㎡ 蒸留装置、圧搾機、均質機、乳化装置、発酵用タンク、発酵室、製麹機など
 - ・「その他食品」 13社 472.5㎡ 油濾過機、油塗装置、食品用印刷機、高圧食品製造機など
- ★エンジニアリング・生産流通システム・IT・ITソリューション 35社 1,005㎡
 トレーサビリティ、RFID 関連機器、EDI（電子商取引）対応システム、工場設計・設備エンジニアリング、HACCP 管理システム、計測・制御システム、販売管理ソフト、生産管理・支援ソフト、ITソリューション提案、IoT/M2M など
- ★鮮度管理・品質保持 27社 1,507.5㎡
 予冷・冷凍・冷却・凍結装置、解凍装置、チラー、冷蔵・保冷库、貯蔵設備、紫外線・オゾン応用装置、殺菌・滅菌装置、空調装置など
- ★包装・充填 121社 7,785㎡
 各種包装機器、充填機、計数・計量機、結束機、シーラー、インクジェットプリンター、印字機、ラベルシール機、包装資材、ピッキングロボットなど
- ★保管・搬送・移動 48社 1,875㎡
 コンテナ、コンベア、ベルト、チェーン、パレタイジングロボット、リフト、選別機、運搬車両、ホース、ポンプ、タンク、協働ロボットなど
- ★計測・分析・検査 37社 1,102.5㎡
 計測機器、分析機器、検査機器、検出機、測定・試験機器、画像処理機器、センサーなど
- ★衛生対策・管理 70社 1,575㎡
 施設・容器・器具洗浄機器、クリーンルーム、シートキャッチャー、ユニフォーム、異物・害虫混入防止機器・装置、洗剤・薬剤、衛生資材など
- ★環境対策・リサイクル 28社 367.5㎡
 排水処理装置、エネルギー有効利用システム、ごみ処理装置、コンポスト化機器・システム、乾燥機、再資源化処理装置・技術、減容機器、リサイクル機器、汚泥処理装置・技術など
- ★設備機器・技術・部品 73社 1,740㎡
 ボイラー、バルブ・継手、ノズル、タンク、ホース、モーター、潤滑油、添加剤、熱風発生機、膜および膜利用技術、フィルター、食品工場用床材、床仕上工法、監視カメラ、LED 照明など
- ★情報サービス・団体 26社 307.5㎡
 新聞・雑誌・書籍・ビデオ、調査・研究・試験、団体・機関、自治体など

合計 791社 34,590㎡

② IoT・IT・AI 技術を活用したロボットソリューション等、最先端の製品やサービス、情報を多数紹介。

人手不足解消や労働環境の変化を補うテクノロジーとして注目を集める、IoT・IT・AI を活用したロボットソリューションが多数出展しており、人と共存してのワークを可能とした協働ロボット等を組み込んだ生産システムも数多く紹介します。

③「衛生対策製品紹介プラスコーナー」を新設し、衛生対策に関する情報を数多く提供。(東7ホール)

今回の新たな取り組みとして、「衛生対策製品紹介プラスコーナー」を開設し、食品工場で今、関心が高く重要視されている衛生対策について、より多くの提案や情報発信を行います。

④国際化への取り組みとしてJETRO 商談会 in FOOMA JAPAN を開催。海外展開のための相談コーナーも設置。

■日本貿易振興機構が海外からバイヤーを招聘し「JETRO 商談会 in FOOMA JAPAN」を開催
 本年も日本貿易振興機構（JETRO）がASEAN諸国を中心とするバイヤーをFOOMA JAPAN 2018に招聘し「JETRO商談会 in FOOMA JAPAN」を実施します。

■東7ホールのグローバルスペースでは、海外展開を図る日本企業を積極的にサポート！

日本企業の海外展開をサポートする「グローバルスペース」には、世界11カ国から13の駐日大使館、機関・団体等が出展。日本貿易振興機構（JETRO）ほかによる「海外展開相談コーナー」も開設します。また、特設のイベントステージでは、各機関の担当者によるミニセミナーを実施し、海外市場の動向や最近の投資環境など、グローバル市場でのビジネス展開を目指す企業に向けて最新情報を発信します。



【出展機関】

- ①アメリカ州政府協会(ASOA) ②インドネシア食品・飲料業者連盟(GAPMMI) ③オランダ大使館 ④シンガポール政府観光局 ⑤スペイン大使館 経済商務部 ⑥タイ投資委員会(BOI) 東京事務所 ⑦チリ大使館 ⑧公益財団法人東京都中小企業振興公社 ⑨特定非営利活動法人日印国際産業振興協会 ⑩日本貿易振興機構(JETRO) ⑪ベカメックス(ベトナム・ビンズン省投資工業開発公社) ⑫香港貿易発展局(HKTDC) ⑬マレーシア投資開発庁(MIDA)

【イベントステージプログラム】

6月14日(水)	参加機関	テーマ	講師
11:00~11:50	ベカメックス	食品機械製造業のベトナム生産のお勧め	ベトナム・ビンズン省投資工業開発公社 日本部長 植松 完二氏
13:00~13:50	香港貿易発展局(HKTDC)	香港から海外展開へ 香港活用セミナー	香港貿易発展局 東京事務所 貿易引合主任 ジェーミー・シー氏

6月15日(木)	参加機関	テーマ	講師
11:00~11:50	国際機関日本アセアンセンター	ASEANの社会構成と購買力(仮題)	日本アセアンセンター 貿易投資部 投資担当部長代理 中西 宏太氏
13:00~13:50	TNO オランダ応用科学研究機構	2030年の食糧産業を支える課題	オランダ応用科学研究機構 食と栄養・ライフスタイル 食と健康部門 日本代表 (MBA/MSc) 西出 香氏
14:00~14:50	日本貿易振興機構(JETRO)	初めての海外展開のポイント(予定)	日本貿易振興機構 未定

■グローバル化するFOOMA…昨年は、世界52ヶ国（一昨年は38ヶ国）から来場！

海外からの総来場者数は3,775人で、アジア圏以外からの来場者が増加。中でもアフリカ圏からは前年比+5カ国（1カ国⇒6カ国）で44人も増えた。また、北米・中南米圏からは前年比+4カ国（4ヶ国⇒8ヶ国）から来場し、一昨年は合計38ヶ国だった国の数が、昨年は合計52ヶ国（約1.4倍）にも達し、日本製機械へのグローバルな関心増が見てとれる。

⑤日食工 創立 70 周年記念コーナーの開設（東 7 ホール）

1948年、わが国の経済社会の再建と逼迫する食料事情の緩和を図る目的で前身の「全国食糧機械製造業者懇談会」が発足して、今年で70年を迎えます。FOOMA JAPAN を主催する日本食品機械工業会ではこの節目を記念して、これまでの日食工の活動と歴史をまとめた展示や、日食工創立 70 周年記念抽選会などの連動企画の開催を予定しています。

⑥FOOMA ビジネスフォーラムで、ホッピービバレッジ（株）石渡美奈社長が講演。

テ ー マ：「あなたが変われば、世界が変わる！」

～体当たりで挑んだ経営改革と 業績回復までの奮闘の軌跡～

講 師：石渡 美奈氏（ホッピービバレッジ株式会社 代表取締役社長）

日 時：6月13日（水）17：00～18：30

会 場：会議棟 1 階レセプションホール A

募集人数：400名（聴講無料）※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録

または当日東4ホール前セミナーインフォメーションで当日登録が必要

内 容：1905年に祖父が創業した会社、ホッピービバレッジ(旧コクカ飲料)に1997年に入社。以後、「温故創新」の精神のもと、組織改革、人材育成、ホッピーや会社のブランディング等に取り組み、売上を約5倍に伸ばした奮闘の軌跡とこれからを語ります。



⑦青木愛さん（元シンクロナイズドスイミング日本代表）が1日広報委員長に就任！



「マーメイドジャパン」のメンバーとして、2008年北京五輪のチーム種目に出場。現役引退後はメディア出演を通じて、スポーツのすばらしさを多くの人に伝えている青木さんが、日食工1日広報委員長に就任します。会期初日の6月12日に展示会場を視察し、東7ホールアカデミックプラザ内の口頭発表会場で機関誌「ふーま」の連載記事『テーブルトーク』の公開取材を行います。選手時代からプライベートまで、「食」に対する思いやこだわり、思い出などについて語ります。

日 時：6月12日（火）16：00～16：30 ※来場者の観覧自由

会 場：東7ホール アカデミックプラザ内 口頭発表会場

⑧学生対象 YO-CO-SO（ようこそ）FOOMA 開催。

日食工の次世代リーダーたちが集まる青年部が主催し、将来の日本の食文化やものづくり文化を担う学生たちに『食ビジネスにあこがれ（夢）を持ってもらう。』ことを目的に開催しています。食品生産に関連した学科などを有する高校が授業の一環として取り組む例も増加しており、授業では得ることができない、最新の食品機械による食品製造現場を学ぶ貴重な機会を提供しています。

【実施日】6月14日(木)午前中（予定）

新製品の開発や新ビジネス創出のヒントが無限大！？

★アカデミックプラザ2018★

食品および食品機械分野の総合的な発展と技術力の向上を図り、産・学・官が交流することで国民の豊かで安心できる食生活の向上に資することを目的に開催している『アカデミックプラザ』は、今年で26回目を迎えます。本プラザの最大の特徴は、国内外の大学・研究所の研究者たちがポスターセッションブースに常駐。来場者が研究者たちと直接対話できることです。

通訳も揃っているため、来場者は海外の研究者たちとダイレクトにかつスムーズに対話や意見交換をすることができ、新製品の開発や新ビジネス創出のヒントが得られる可能性大です。

<ポスターセッション ⇒ 国内外の大学や研究機関が最先端の研究成果を発表！>

参加：国内46研究室、海外20研究室

内容：産・学・官の交流を通じて互いの知見を深め、今後の技術開発に向けて共同研究を行う貴重な契機となっている研究発表会。食品及び食品機械分野の総合的な発展と技術力の向上を図るために、今回は国内46、海外20の合計66研究室が参加し、最先端の研究成果についてポスターやパネル等で発表（展示）します。優秀なものについてはFOOMA AP賞グランプリ、AP賞が贈られます。



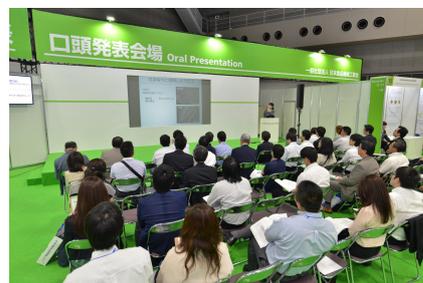
日時：6月12日（火）～15日（金）10：00～17：00 ※実演や試食を行う研究室もあります。

会場：東7ホール アカデミックプラザ

<口頭発表 ⇒ 国内外の大学や研究機関が23テーマを連日発表！>

参加：国内22テーマ、海外1テーマ

内容：今回のアカデミックプラザの研究発表会（口頭発表）には、国内外の大学・研究機関などが参加し、合計23テーマについて口頭で最新の研究成果などを発表します。



日時：6月12日（火）～15日（金）

11：05～15：15 ※12日のみ14：40終了

会場：東7ホール アカデミックプラザ 口頭発表会場

★出展社プレゼンテーションセミナー★

内容：出展企業が自社の製品・技術・サービスなどについて詳しく説明。各社の展示ブース内では得られない貴重な情報が入手でき、セミナー終了後には出展社に質問や相談等ができるスペースや時間を設け、新規ビジネス展開のヒントや生産性向上につながるノウハウを提供します。

今回は、会議棟6階の607・608セミナー会場に加えて、新たに東8ホール商談室(2)(3)を使用し、IoTやロボット技術、HACCP対応など時代のニーズに合ったトピックスを含む38社38セミナーを開講します。

日時：6月13日（水）～15日（金）

会場：会議棟6階 607セミナー会場 10:30～15:35 / 15社参加（15セミナー）

会議棟6階 608セミナー会場 11:00～16:05 / 15社参加（15セミナー）

東8ホール セミナー会場 11:00～15:15（15日は無し） / 8社参加（8セミナー）

募集人数：全セミナー各120名

※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナーインフォメーションで当日登録が必要

★日本食品工学会 フォーラム2018★

テ ー マ：安全な食品を製造する技術
～安全で無ければ食品ではない！～
日 時：6月12日（火）10：25～16：50
会 場：会議棟6階 605・606セミナー会場
募集人数：300名
※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー
インフォメーションで当日登録が必要
主 催：一般社団法人 日本食品工学会
共 催：一般社団法人 日本食品機械工業会



★農業施設学会シンポジウム★

テ ー マ：日本を支える物流の革命
日 時：6月12日（火）13：00～16：10
会 場：会議棟6階 607セミナー会場
募集人数：120名
※農業施設学会にFAXで事前登録(5月25日締切)が必要。
FAX:029-838-7627 / E-mail:planning@sasj.org
主 催：農業施設学会
後 援：一般社団法人 日本食品機械工業会



★EHEDGセミナー★



テ ー マ：食品工場の立地、レイアウト及び設計
講 師：Knuth Lorenzen/EHEDG 前会長
日 時：6月13日（水）10：30～12：30
会 場：会議棟6階 605・606セミナー会場
募集人数：300名
※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー
インフォメーションで登録が必要
共 催：EHEDG JAPAN
一般社団法人 日本食品機械工業会

★A I B FOOMA特別講演会★

テ ー マ：日本料理研究の最前線からの報告
講 師：山崎英恵氏（龍谷大学 農学部 食品栄養学科 准教授
食の嗜好研究センター 副センター長）
日 時：6月13日（水）14：00～15：30
会 場：会議棟6階 605・606セミナー会場
募集人数：300名
※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー
インフォメーションで登録が必要
共 催：A I B日本同窓会
一般社団法人 日本食品機械工業会



★美味技術学会シンポジウム★

テ ー マ：美味しさを評価するための最新テクノロジー
 日 時：6月14日（木）10：20～16：10
 会 場：会議棟6階 605・606セミナー会場
 募集人数：300名
 ※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー
 インフォメーションで登録が必要
 主 催：美味技術学会
 共 催：一般社団法人 日本食品機械工業会



★農業食料工学会シンポジウム フードテクノロジー（フーテック）フォーラム★

テ ー マ：農産物・食品の加工・保存・流通の要、
 微生物コントロールの最前線
 日 時：6月15日（金）10：20～15：35
 会 場：会議棟6階 605・606セミナー会場
 募集人数：300名
 ※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー
 インフォメーションで登録が必要
 主 催：農業食料工学会
 共 催：一般社団法人 日本食品機械工業会



★セミナー・シンポジウム開催会場のご案内★

◆会議棟

【1F】 **レセプションホールA**
 FOOMA ビジネスフォーラム（6/13）

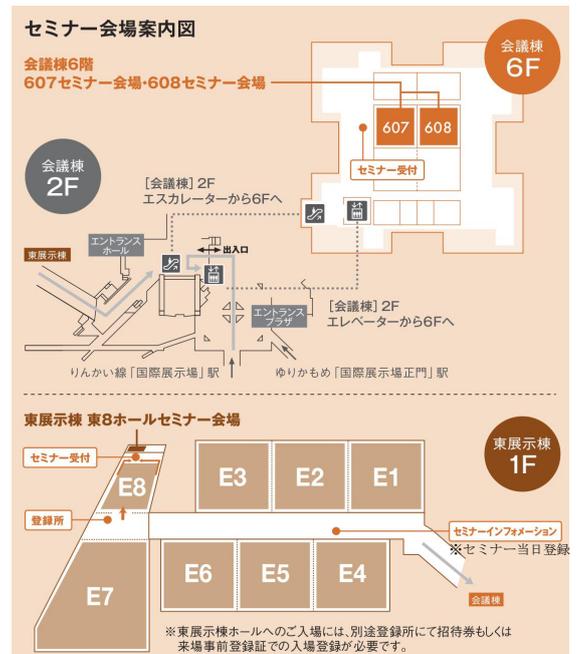
【6F】 **605・606 セミナー会場**
 日本食品工学会フォーラム2018（6/12）
 EHEDG セミナー（6/13）
 AIB FOOMA 特別講演会（6/13）
 美味技術学会シンポジウム（6/14）
 農業食料工学会シンポジウム（6/15）

607 セミナー会場
 農業施設学会シンポジウム（6/12）
 出展社プレゼンテーションセミナー（6/13～15）

608 セミナー会場
 出展社プレゼンテーションセミナー（6/13～15）

◆東展示棟

【東8ホール】 **セミナー会場**
 出展社プレゼンテーションセミナー（6/13～14）



来場者に嬉しいおもてなしがいっぱい！

■ 4月2日、来場事前登録受付開始！

4月2日の公式サイト（PC・スマートフォン向け）オープンとともに、個人向け・団体向け来場事前登録受付を開始します。団体来場事前登録はグループ全員の名前を登録することで、当日登録所での受付をすることなく入場することが出来ます。また、セミナー・シンポジウム・フォーラムなどへの事前登録も開始します。

■ 来場事前登録キャンペーンを実施！

来場事前登録キャンペーンを公式サイトオープンと同時にスタート。公式サイト（<http://www.foomajapan.jp>）で事前登録をして来場した方の中から、抽選で毎日500人に公式ガイドブック（定価 1,000 円）をプレゼントします。



■ 無料シャトルバス増便！

FOOMA JAPAN では公共交通機関の利用を推奨しています。今回は、りんかい線の国際展示場駅と東7・8ホール前を結ぶ無料シャトルバスを増便して、来場者の利便を図ります。

■ Wi-Fi フリースポットを設置！

“Wi-Fi フリースポット” を、東4ホール前インフォメーションの隣のほか、東7・8ホールリンクスペースの2カ所に開設します。

■ 出展社検索サービスがますます充実！

インフォメーションカウンターだけでなく、会場の各所に検索用PCを設置。出展社名・出展製品カテゴリー名・自由キーワードでの検索で、出展ブースの場所を探すこともできます。検索結果のブースマップの出力サービスもあり、簡単に出席ブースにたどり着くことができます。

■ 海外来場者向けホスピタリティも充実！

会場内の随所に外国語サインによる案内のほか、英語版のバイヤーズガイドブックを無料で配布。東3ホール出入口横には休憩・リフレッシュの場として海外来場者専用のインターナショナルラウンジを設け、外国語を話せるスタッフがアテンドします。

また、今回も各出展ブース内スタッフが身に着ける、英語・中国語・韓国語などのバイリンガルバッジを用意しました。日本語ができない海外来場者も安心して、質問や商談を進められます。



■ 出展社と主催者が一体となって「来場者の安全・安心のおもてなし」に取り組んでいます。

FOOMA JAPANでは災害発生時を想定して、来場者の安全と安心を守るため、開幕前日に主催者と出展社が一体となって大規模な合同避難訓練を実施しています。昨年は297人が参加し、避難経路の確認を始めとして、AEDを使った訓練や消火器を使った消火訓練も行いました。



開 会 式



開会式は6月12日（火）9:45～10:00 下記の東7・8ホールリンクスペースにて、「FOOMA JAPAN 2018」の幕開けとして華やかに挙ります。（会場前に臨時のプレス受付を設置し、9:15から受付を行います）。

なお、東7・8ホールへは、りんかい線[国際展示場駅]からの無料シャトルバスが便利です。

